第7回唐津市立学校通学区域審議会会議録（まとめ）

令和7年2月6日（木）午後6時～
大手口センタービル6階会議室

〔事〕：事務局、〔長〕：委員長、〔委〕：委員

【答申内容についての審議】

〔長〕：本日は、全体での最後の審議会の予定。前回骨子案について皆さんにいただいた意見、気づきを集約したい。

〔事〕：前回、答申の骨子について議論いただき意見を基に修正。1の通学区域に関する基本的な考え方、2の学校及び通学区域、基本的に変更はないが、1点、2-（2）の1学年1学級の解消に、前回お示しした中に北波多中学校が入っていなかったため追加で記載した。

3の学校選択制度の導入を、小規模校等選択制度という名称にしていたが、小規模校等の『等』がわかりづらいという意見があったため少し整理した。

3-（1）の大規模校等の「等」については、教室数に対し児童生徒数が多い学校があるため、大規模等という表現としている。大規模校の該当校は現在鏡山小学校。教室数に対して児童生徒数が多い学校は、現在の該当校は長松小、久里小、浜崎小。この学校に在籍している子ども達は、受け入れ先としてア、イを除くすべての学校に希望すれば行けるという考え。次に3-（2）小規模校への入学、転学は、対象者は1学年2学級以上ある学年に在籍している児童生徒で、受け入れ先は1学年1学級または複式学級となっている学級。

この3-（1）と3-（2）のこの2パターンで学校選択ができる制度の導入ということで掲載している。

続いて4だが、骨子では掲載をしていなかった新たな項目として保護者の経済的負担の軽減項目を入れている。学校統廃合により著しい交通費等の負担が生じる場合は、適切な支援措置を行うことが適当としている。また会長提案の制服や体操服、通学バッグなどの学校製品について学校統廃合や学校選択制により、買い替えが不要となるよう指定品の自由化または全市統一化の検討内容をいれているため、委員の皆様からのご意見をいただきたい。

2-（2）には、既に1学年1学級となっている小・中学校及び今後5～10年の間に1学年1学級になると予想される小・中学校を記載している。

前回答申では具体的な統合案の記載があったが、実際は答申と別の学校と統合した事例がある。地域意見等を聞く中で形が変わっていくこともあり、そこも含め同記載するか、ご意見いただきたい。

2-（3）は長時間通学の抑制。基本的な考えで示したとおり通学時間についての意見を反映させ、特に低学年の通学時間、心身の負担を考え、広域統廃合を検討する際は通学時間が概ね1時間以内となるよう配慮する項目を記載している。1時間以内と線を引かせていただいたのは、国の全国的な統廃合校の通学時間調査では最長75分、

9割以上が1時間以内の通学時間という結果を参考にしている。1時間でも長いという意見もあるかもしれないので、ご意見いただきたい。

3の小規模校等選択制度については前回いろいろご意見いただき、新入生だけではなく全学年対象とした。他の変更はない。

次回、最終答申の形でまとめるため、ご審議をお願いしたい。

Ⓔ：本日が最後の審議会となるため、気づきや質問、ご意見等をお願いしたい。

Ⓕ：小規模校等選択制度で、留意点でアとイに該当する学校間での入学、転校は不可とある。このア、イに該当するのは鏡山と長松、久里、浜崎なので、この4つのエリアではもう理由なくここに行きたいと言ってもだめだと考えてよいか。例えば今長松だが、鏡山校区に家を建てたから、そこに行くというのは、それは理由があるからいいという考え方でよいか。

Ⓖ：理由がある場合は校区外通学申請で許可しており、その運用は変わらない。おっしゃっていただいたとおりの運用となる。

Ⓖ：学校選択制度の、(1)の大規模校からそれ以外は、鏡山小学校、長松小、久里小、浜崎小学校の4つの学校を示しており、2番はそれ以外の小中学校という認識でよいか。

Ⓖ：おっしゃるとおり。

Ⓖ：学校選択制の導入にあたり導入の目安は。統廃合に関しては時期を明記できないとのことだったが、学校選択制度の導入についてはどうか。

Ⓖ：この答申後、速やかに制度の導入を進めたいが、この答申の中に具体的な時期を入れるのは難しい。速やかにということ考えている。

Ⓖ：学校運営に支障のない範囲というのは、どういう意味か。

Ⓖ：複式学級になる、ならないとか、教員の数に絡むことも1つ想定していたかと思う。

Ⓖ：影響として、せっかくの2クラスが、1クラスになったりする可能性もある。

Ⓖ：小規模校以外は移れるという考えでよいか。

Ⓖ：おっしゃるとおり、1学年2学級以上あれば移れる。逆に言えば1学年2学級以上ない小規模校、1学年1学級だったり複式学級、そういうところは移れない。

Ⓖ：語尾が『望ましい』、『行なうこと』、『適当である』、『されたい』、『配慮すること』、それぞれが違うが、何か基準があるのか。

Ⓖ：表現は事務局内部でも議論し、ニュアンスを考えて語尾を選択した。

⑧：長時間通学の抑制について、小学生という言い方が少し気になった。

⑨：もう1回事務局内部でも検討し修正したい。

⑩：最後の4-(2)について、全市統一化というのをこの文言を入れたら、買い替えが不要になるように、とずれてくるのでは。自由化だけでいいのではないかと思うがどうか。

⑪：例えば中学校の制服は今新しくいろんな学校が変わっているが、今回全市統一はなかった。それぞれの学校で選定している状況。鳥栖市などは全市統一で中学校の制服はなっており、そうなるとどこの学校に移ってもいいとはなるが、指定品の自由化だけでは、今度はいろんな服を着てくる、ということにつながるのかもしれないと思った。

⑫：自由でもいいのではないかと思う。普通の洋服で、制服でなくてもいいのかと。体操服は体操服で動きやすい体操服の代わりになるようなものでいいのではないか。試みとしてやってみてもいいかとも思う。

⑬：通常は統廃合でも卒業までそのまま使用できる暫定期間を設ける。ここでの意味は、統一服になったから統一服に買い換えてということではなく、統一服を設けておけば、順次統一服に替わっていき、全て統一服となった際は、学校が異動になっても同じ服でもよい、そういう意味での統一化。

完全自由化も自治体によっては確かにあるが、やはり制服があったほうが、あまり考えなくていいと言ったらおかしいが、特に女子などは経済的格差というか、そういうのが出てくることもある。教育委員会の立場としてはやはり学校運営上、制服はあったほうがいいと思うが、どうか。

⑭：私も制服はあったほうがいいとは思いますが、今は犯罪などで特定される場合もある。そのへんも踏まえ自由化も検討してもらいたいとも思う。

⑮：今、学校指定品がどう購入されているかはわからないが、地元の洋品店、靴屋の収入というか、学校の制服とかで回っていったお店がたくさんあると思う。どの時点で統一するかは難しいことだとは思いますが、直接そのお店の運命に関わっていくこともある。

⑯：どこまでその店のことを考える必要があるのか、というところはある。現にうちの校区でもそうやって生計を立ててあるところは実際ある。

また制服の組合というのがあり、ここの地域はこことか、そういったものもある。うちが制服を一昨年変えるときもいろいろな議論があり、その後参入したいというところもあったり、広くすればやはり市場原理で安くなったり高くなったりするため、消費者としてはよいが、見えないところの問題があると感じてはいる。自由になれば楽だとは思いますが、やはり縛られている現状がある。

靴など自由化すると、どうしても何万円もする靴を履いてきて、問題になって元に

戻した、というようなこともある。高校では佐賀西高などが自由にノー制服デーというのをされたが、結構制服を着てきたとか。なので、なかなか制服の統一、制服をなくす、自由化というのは、様々な議論がまだいるという感じはする。

私としては『指定品の自由化または全市統一化を検討されたい』であり、自由化とするのか統一化するのか、そういう検討をしたがよい、という文言なので、残していただければ、まずはそこから始まるのかと。

⑤委：制服の件で、犯罪に関して特定されると言われたが、逆にいじめなど早期発見につながる、いち早く対応できるという利点もある。一概になくしてしまうのもどうかという部分はあると思う。

⑥委：校則も以前比べ本当に緩くなっている。靴にしても学校は必ずローファーだったり、白色の靴などいろんな規則があったが、現在はだいぶ緩くなっている。一応義務教育の間はやっぱり制服がよいというのはある。先ほどあったように犯罪、裏のほう、見えないところがやはりあるため、早期発見というのもあり義務教育の間は、やはりきちっとしていただきたいというのはある。この先全市統一化の検討という文言はいいとは思いますが、今現在はこのままの現状であってほしい。

⑦委：制服については、この場で結論を出すものではないため、先ほど言われたように、ここではこういう意見が出たため、しっかり検討してください、ということではいいのではないか。

⑧長：私の意図としては、学校はいろんな基盤により教育活動を行っており、ほかの学校への行き来、それがしやすくなる環境としてどうしても各学校それぞれの風土に基づいた地域性や学用品も含め制服も、少しフランクに、少し壁を取っ払って議論をしてみてもいいんじゃないか、というところ。

今回の諮問が良好で好ましい教育基盤形成のための小中学校の通学区域のあり方について委員の皆さんに意見を求めるというのがそもそもの趣旨でもある。しかし、どうしても唐津市が合併して旧唐津市、旧町村という部分で未だに成人式であったり全市できていない。やはり地域は大切だが、合併した後の唐津市をどう考えるかを含め、その一つとして学校の通学区域、少子化が更に加速する中、統廃合も含め、最後にこういうふうな直接通学区には関係はしないかもしれないが、通学のことを更に今後それぞれの対象となっている地域がその議論に入っていくときに、どうしてもこの基盤となる諸々の環境というところも一つ視野に入れ、この『検討されたい』というところで一つ文言を入れて、実際に議論するのはこの後のことであっても、通学区域を検討するにあたりいろんな問題点があることを、この中に書き留めておいてもいいんじゃないか、ということで提案をさせていただいた。

実際には今後、統廃合も含め学校選択制度の導入が現実化していくときに、そのへんも含めた当事者、当該地区での議論が加速できればいいと思うので、文言として載せていただきたい。

最後にこれで皆様に確認していただいた内容をもってこの審議会の最終的な答申として確定したいがよいか。今回欠席の委員もあるため、最後また委員の皆様へ報告し、最期答申案の報告という形にしたい。

- ⑧：少し時間があるため、委員に一言ずつ感想も含め最後をお願いしたい。
- ⑨：勉強させられることばかりだった。またこれから先少子化によりいろんなことでいろんな議論が出てくるかと思うが、子ども達の明るい未来のためにも、また安全を守るためにも、より良く繋がっていくことを願っている。
- ⑩：もう私も孫がいる。最近夕方通ると低学年の子どもがバスを待っている。道を行ったり来たり、危ないと思いながら見ているが、本当に地域のおせっかいおばちゃんを感じて一言声をかけてはいくようにしたい。PTAの方が多と思うが、地域の方々にも見守られている面も多いと思うため、大変と思うが子ども達のためにお父さんお母さんには頑張っていたきたい。
- ⑪：学校役員のと時から統廃合関係で会議に出席し、今度は市役所でこういう大きな会議に出て、一番思ったのが、やはり唐津は周り、地域で育てているような環境があるので、やはりそこはなくしてほしくないというのは今でもある。1学年1学級、それでもだめなら、地域は？という思いはどうしても残ってしまうところではあるが、今後の保護者さんでどう考えていくかにかかっていると思いながら参加させていただいた。
- ⑫：日用品、ランドセルとか制服関係を譲り合う、そういうところも出ていた。聞くところでは、中学校とか高校に入るときに10万ぐらいいるとか、そういう負担も聞く。今度私達の地区も閉校式がある。その前に育友会の臨時総会があるが、これまで積み立ててきたお金が少し余っている。保護者負担の問題についても、話してみようかなと思う。それなりにやはり勉強になった。まだ地元のために頑張りたい。
- ⑬：通学区域審議会で思ったのは、一番はやはり子どものために何が大切かというのが大事かと、大人の都合によって地域のコミュニティを守るために統廃合が進まないというよりは、子どもの教育環境を大事にしてあげるのが一番大事なのかと思っている。制服に関しても何でもそうだが、子どもにとって何が一番いいかが大前提であってほしい。統廃合も子どもにとって一番いい選択をしていただきたいと思う。
- ⑭：やはり人が減り寂しいところもあり、今後ずっと減っていくことも確認できたところもあるが、減るばかりではなく、もうちょっと唐津が盛り上がって、企業誘致など人口が増えるようになってくれれば、また変わってくる、そうなっていけばいいと、期待しながらこれから関わっていきたい。
- ⑮：制服の話もちょっと出たが、今学生服を作る工場も倒産とかが結構あっている。学生服メーカーも縮小、縮小で数を作れないため、工場とメーカーが手を組み、直に近い形で学校に、というような流れもある。どうにかしてやろうとしている中で、私達も少子化をどうしたら解消できるか考えなくては行けないが、こればかりは、考えてどうこうなる問題でもない。行政が動かなと、問題解消の方向付けもできないと思う。今私達は流れを作るための会議しかやってないので、違うところで人を増やすためどうするか、考えるようになった。

- ⑤：呼子、鎮西、肥前、七山、巖木、相知とか、少子化はどうしても止められないというのものもあるし、結局統合するしかないという選択肢が先にもう用意されているのを見ると、やはり市内に人口が集中するのを何とかできないか、という気持ちもある。地域の学校は、話があったように地域とのつながりとか結構多くて、そういうのが先々もしかしたら無くなっていくのかと思うとやはりそれは寂しい気持ちがあるので、何とか残っていく感じになればいいと個人的には思う。
- ⑥：皆さんの意見を聞き、なるほどと納得する意見もあった。これを基に行政がどう動くかを見てみたい、今後楽しみにしたい。いい経験をさせてもらった。
- ⑦：一番に子どものことを考えながら、これからの小学校や中学校のことを考えていければいいかなと思う。
- ⑧：19年の答申時から地元民として、また役員として関わってきた。その当時ひどい会議だった。感情的になり過ぎて議論にならなかった。そのしこりがまだ結構ある。私達の年代の良くないところは、祖父母世代はノスタルジーで、学校を無くしたらいけないという感情論になる。しかし先ほど言われたように、今からの子ども達をファースト、一番いい道を考え探っていく必要がある。学校がなくなったら地域がさびれると言うが、子どもは地域にいる。組織もある。頑張っただけで地域を活性化しないといけなかつくづく思った。今後地域に説明していかれると思うが、甘い言葉は言わないよう、データで納得させていただきたい。
- ⑨：もう本当に生徒数も小学校、中学校の運動会なんかさみしいと思うのが実情だが、この資料は区長会で出してもよいのか。
- ⑩：最終的にホームページに載せ、広く市民の方に知らせる。会議も毎回ホームページに載せているので、皆さんに見せていただいて構わない。
- ⑪：今度区長会もあり、区長達にもこれだけ数が減っていくということを知らせておかなければいけないなと思う。
- ⑫：学校関係の立場として、それぞれの地域の方が、いかに子ども達のことを大切に思ってくださっているかがよく伝わってくる会議で、皆さんの思いをしっかりと受け止めることができた。自分は街中のほうの学校ではあるが、13年前の教諭時代は児童数が450は超えていたが、今現在13年経ち250を切り、もう200人以上減って単学級になり、そして学級数が減り、職員数が減り、そしてPTA活動にも制限があるというような状態で、課題がたくさん出てきている。先ほど皆さんが言われたように、子どもたちにとって何が必要か、やはり統合にはものすごいエネルギーがいるが、本当に前向きに取り組んでいかなければならないと、行政と合わせてみんなで真剣に考えていけるようにしたいと実感した。
- ⑬：本当に皆さんのご意見をいろいろ拝聴できて良かったと思う。我々教員は学校のこ

としか考えていない。いろんな方がいろんな考え方を持っていてあるということがわかったことと、子どものために、学校教育のために考えていただいているというのがひしひしと感じられ、本当にありがたく思った。

- ④：私もPTAとして参加させていただいているが、最後の仕事と思っている。まだ地区の会長を引き受ける前からこの問題というのは引き継がれている深刻な問題であり、子ども達のために、今日皆さんおっしゃったようなことで取り組んできたが、結局決まらないまま次の会長に引き継ぐ形になってしまった。

ただ、引き継ぐにあたり、皆さん各地域、各組織の代表として今日来られており、次何かアクションがあったとき、例えば制服の話など決まらず実際その時の当事者で話し合っていていただくこととなったが、そこはちゃんと引継いで、今日ここまで話し合っていて統合のほうに進めているということは、各地域に持ち帰って伝えていただきたい。

「初めて来たがそんな話は聞いていない」というところから始まると、これまで話し協議してきた時間がすべて水の泡になってしまう。そこはしっかり引き継いでいただきたいのと、黙っていたら選挙と一緒に変わらない。やはりこの町の代表者、第一当事者として子どもに携わる中で、積極的に参画して自分達の子ども、地域が前向きになるよう、変えることはできないかもしれないが、発言ができるというのは皆さん体験できたと思う。そういったことを各地域へ引き継いでいただきたい。私達の、孫の世代には変わっと思う。いい唐津になることを期待している。

- ⑤：今日ご審議いただいた、ご意見いただいた内容を、会を代表して教育長に答申書としてお渡しさせていただきたい。2年間皆様にはご協力いただきありがとうございます。これですべての審議を終わります。

(午後7時10分 終了)